

# 2018(平成30)年度事業報告書

## 2018(平成30)年度事業報告

	事業名	事業内容
学 び の 場 の 提 供	人権ライブラリー  629,989円	<p>人権に関する図書・ビデオ・資料等を整備し、閲覧や貸出を行った。 DVD視聴用に対応した機材とソフトを導入し、利用者の利便性の向上を図った。 ※3月末現在(整備状況：図書5,297冊、ビデオ497本、利用者数3,964人)</p>
	人権を考える公開講座  389,215円	<p>県民を対象としセミナーやワークショップを開催した。</p> <p>○セミナー(2回)</p> <p>①「気になる！大人の発達凸凹～みんな違って、違いを認める。～」 講師：広野ゆいさん (NPO法人DDAC(発達障害をもつ大人の会)代表) 7/1 和歌山ビッグ愛会議室(58人参加(定員50人))</p> <p>②「心の充電 今日とはしてみませんか？～違う世代だからこそ、気付くことってありますよね～」 講師：岩崎順子さん (いのちの講演家、当センター登録講師) 9/8 岩出市総合保健福祉センター(37人参加(定員50人))</p> <p>○ワークショップ(2回)</p> <p>「ようこそ！子育て寺子屋へ～カウンセラーと一緒に考え、一緒に学ぶ～」 ファシリテーター：中本久美さん (Kids Firstカウンセリング代表/心理カウンセラー)</p> <p>①10/27 紀南文化会館(14人参加(定員30人)) ②10/28 かつらぎ総合文化会館(11人参加(定員30人))</p> <p>○スポーツ団体との連携ワークショップ 車椅子バスケットボールを体験しながら、楽しく人権について学び、障害者に対する理解を深めた。 「車いすバスケ人権教室」(和歌山市) 講師：琴の浦バスケットボールクラブの選手(6人) 7/28 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター体育館：参加者27人(体験者16人、見学者11人)</p>
	人権感覚を育てよう	<p>幼児向け啓発プログラム『みんな、たいせつ』(平成22年度開発)の講師養成のほか、幼稚園・保育所等でのプログラム実践啓発手法周知の出張講座を開催した。</p> <p>○講師養成セミナー(2回)</p> <p>①6/10 県立情報交流センターBig・U(18人参加(定員30人)) ②6/17 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛(18人参加(定員30人))</p> <p>○プログラム出張講座(10ヶ所) *応募24ヶ所から選考対象3～5歳児とその保護者、保育者(延べ413人受講)</p> <p>①9/12 紀の川市 なるき保育所 ②9/26 和歌山市 (公財)鉄道弘済会和歌山保育所 ③10/17 和歌山市 岡崎保育園 ④11/2 紀の川市 紀の川市立川原保育所 ⑤11/7 美浜町 和歌山病院くろしお保育所 ⑥11/13 新宮市 新宮市立丹鶴幼稚園</p>

	529,832円	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦11/19 和歌山市 新堀こども園</li> <li>⑧11/28 田辺市 南和歌山医療センターはまゆう保育所</li> <li>⑨12/12 和歌山市 木ノ本こども園</li> <li>⑩2/8 みなべ町 高城保育所</li> </ul>
	375,340円	「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」締結団体から、県への人権研修講師派遣依頼に基づき、センター登録講師等を派遣した。 (3月末現在：33回派遣、対象1,752人)
	822,785円	<p>中小企業の経営者及び研修担当者を対象に、誰もが働きやすい職場づくりを支援するための講座を開催した。(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「組織活性化に向けたダイバーシティと人権」 講師：阿部重利さん (ヒューマネコンサルティング(株) 代表取締役) 8/31 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 (25人参加(定員60人))</li> <li>○「従業員のやる気を起こさせるCSRと人権」 講師：水尾順一さん((一社)経営倫理実践研究センター首席研究員/駿河台大学名誉教授) 9/20 紀南文化会館(16人参加(定員60人))</li> </ul>
考えるきっかけと素材の提供	279,064円	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権に関するポスターを募集、優秀作品を表彰し、展示した。最優秀作品(小・中・高校各1点)を「人権を考える強調月間、同和運動推進月間」用啓発ポスターとして作製し、活用した。 (応募総数4,592点)</li> <li>○日常生活の身近な人権をテーマに「人権の詩(こころのうた)」を募集、優秀作品を人権フェスタにおいて表彰し、展示した。 (応募総数2,565点)</li> </ul>
	243,605円	<p>NPO団体等への人権に関する作品展示スペース及び研修室として貸出を行うとともに、市町村・企業等にパネル貸出を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○障がい者市民の夏祭り作品展(7/23～8/6、来場者55人)</li> <li>○人権企画展「人権の詩 パネル展 2008-2017 知事賞作品 ～つたわるココロ。～」(8/13～9/6、来場者128人)</li> <li>○じんけん絵本セレクション(2/13、来場者22人)</li> </ul>
	7,466,675円	<p>NPOをはじめ各種人権関係団体等と協働し、楽しい雰囲気の中で人権を考え多様な体験が出来るフェステイバルを開催した。「りいぶるフェスタ」、「わかやまこころのフェスタ」と同時開催し、効果的な啓発を実施した。</p> <p>11/24(和歌山ビッグホール) 出展数:176団体、来場者数:7,300人 内容:ブース展示、パネル展示、ステージイベント、人権啓発資料展、ワークショップ、模擬店、各種体験コーナー</p>
	331,340円	<p>「同和運動推進月間」(11/1～11/30)及び「人権を考える強調月間」(11/11～12/10)に集中的な啓発活動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○街頭啓発(11/1) JR和歌山駅前</li> <li>○人権啓発ポスター作成(2,000枚)・配布等</li> <li>○同和運動推進月間特別講演会(11/6) 「人権文化豊かなまちづくりに向けて～阪神・淡路大震災が教えたもの～」 講師：中尾由喜雄さん(全国隣保館連絡協議会常任顧問/事務局長) 場所：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛(167人参加)</li> </ul>

	啓発資料の作成 949,269円	啓発冊子や資料等を作成し、企業等の人権研修会等に活用いただいた。 ○「わたしにできることー考えよう、「障害」のこと。ー」 ※印刷10,000部 ○「人生(とき)を重ねてー豊かに生きるー」 ※増刷 3,000部 ○「人権ってなあに？」 ※増刷10,000部
情報の収集と提供	センター自主事業 1,879,292円	<情報誌作成> 人権関連活動の取材記事等を掲載したセンターだより『E. L. F. (エルフ)』を作成した。 ○『E. L. F.』4回(各5,000部)、A4/12頁、全頁ルビ・音声コード付き <講師派遣> 市町村・企業・団体からの要望を受けて、センター職員を人権研修等の講師として派遣した。 ※3月末現在(29回派遣、対象1,197人) <啓発ポスター・人権の詩入選作品集作成> 啓発ポスターと人権の詩入選作品をあわせて作品集として作成した。 ※印刷(3,000部)
	ホームページ運営 340,255円	人権に関する情報提供やセンター事業広報のため、ホームページを運営し、さまざまな情報をインターネットを通じて発信を行った。
	講師バンク	センター設置の人権課題ごとに登録された講師バンクへの登録講師の充実を図り、市町村や事業所、各種団体等の要望により人権研修等の講師を紹介した。 ※3月末現在(登録講師数:47人、紹介回数35回、対象2,905人)
人権相談	人権相談 3,137,000円	「人権ホットライン」による電話相談や来所による面接相談に対し、問題解決の視点から助言等を行った。 また、弁護士による法律相談を実施した。 電話相談 83件 面接相談 10件 メール・FAX等 0件 法律相談 13件 計106件(3月末現在)
センター運営	センター運営 7,896,756円	センター維持管理経費として、以下の経費を支払った。 事務室使用料、共益費、光熱費、公用車管理費、 理事会・評議員会開催経費等
人件費	人件費 50,708,050円	センター運営に要する人件費
計	計 75,978,467円	